

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年7月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101458
法人名	株式会社 なごみ
事業所名	グループホーム せせらぎの里鹿児島南
所在地	鹿児島県鹿児島市東谷山二丁目5番8号 (電話) 099-210-0753
自己評価作成日	令和元年6月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年7月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム4階(愛称:「ひまわり」)では職員と入居者様との会話や交流に力を入れています。認知症状はお一人おひとり異なりますが、集団活動を通して、一つの行事に対して入居者様・職員一丸となって取り組んでいます。また、職員は社交性が高く(目立ちたがり屋)、常に笑顔を絶やさない雰囲気づくり、職員全員で認知症ケアの質の向上を目指している事も4階の誇れる点だと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・7階建のビルの3階がデイサービス、4・5階がグループホーム、6・7階が有料老人ホームになっており、職員や利用者間の交流がある。窓から遠望の山や街並みが見渡せ、天然温泉もあり快適な環境の中にある。
- ・地域の自治会や通り会に加入し、地域の清掃活動や祭り見物、運動会に参加している。近隣の商店とも馴染みの関係が築かれ、法人の夏祭りには近所や老人会の方が多数見物に来られる等、地域と交流が行われている。
- ・家族会は、利用者・家族の希望や要望等を取り入れ、運営に活かしている。月刊のせせらぎ便で日常のできごとを家族に知らせ、利用者の元気で過ごしている様子などを報告している。
- ・代表者や管理者は職員の育成に力を入れており、職員間のコミュニケーションが良く、働きやすい職場になっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	入居者様がその方らしく生活できる想いを込めた理念です。毎朝の申送り時に唱和を行い、職員の意識を高め、職員一同理念を共有して実践につなげています。	理念はホールやスタッフルームの誰でも目に付くところに掲げ、朝の申し送り時に唱和している。職員会議等でも振り返り確認し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議で自治会長や民生委員の方々に情報提供を求め、地域の商店街の方々にも地域の活動の情報提供を呼び掛けています。	町内会・通り会に加入し、清掃活動・地域の運動会や六月灯に参加し交流を図っている。保育園児との交流に出かけることもある。法人の夏祭りには、近所の方や老人会との触れ合いがある。認知症について地域で話す機会があり相談にのっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議やせせらぎ新聞等で活動内容の報告を行い、地域の方々に理解していただけるよう取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2か月に1度の運営推進会議で活動状況、事故報告等を行い、参加者皆様にご意見をいただいてサービスの向上を図れるよう取り組んでいます。</p>	<p>会議は2ヶ月毎に行い、入居者の状況・ヒヤリハット・事故報告・今後の取り組み等の報告を行い、参加者からも多くの意見が出され、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>法人内外の勉強会を通して虐待への理解を深めています。また、日々の活動の中で虐待防止の意識を持って支援に取り組んでいます。</p>	<p>市の担当者には窓口に出向いて、ホームの運営面での相談や取り組みを伝えている。市や地域包括支援センターが開催する研修会等にも積極的に参加し、協力関係を築き取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を中心に定期的に勉強会を開き、身体拘束の知識を学び、職員の共通認識を図っています。また、日々のケアを振り返り身体拘束を行わないケアに取り組んでいます。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置し、言葉の拘束も含め事例を挙げて定期的に勉強会を行っている。外出希望があれば職員と一緒に外出を自由に行っている。家族の協力を得ながら拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内外の勉強会を通して虐待への理解を深めています。また、日々の活動の中で虐待防止の意識を持って支援に取り組んでいます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度が必要と思われる入居者様の支援を通してご家族と話し合い、関係機関との連携を図っています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、または事前にお話をさせていただき入居者様、ご家族の理解・納得を得られるように努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様との日々の会話やご家族訪問時に意見、要望を伺い運営に活かしています。運営推進会議にも入居者様、ご家族を招き、外部の方に意見を伝えられる機会を設けています。	利用者からは日常的に希望や要望を聞き、職員間で情報を共有している。家族からは面会、運営推進会議、家族会で意見、要望を聞いている。家族から「職員異動等で職員の顔が覚えられない」との意見があり、職員の写真を掲示する等、運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月事業所内でミーティング、カンファレンスを行い職員の声を集めています。ミーティングに参加出来ない職員にも議事録等で意見集約、情報共有を図っています。	日常の中で相談を聞いたり、ミーティングやカンファレンス時に意見を聞いている。職員同士もお互い意見を交換して情報共有をしている。有休のとり方、勤務時間の変更等、意見は運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得に向けた支援を積極的に行っています。取得後は、手当として給与等に反映するだけでなく、本人の意向を重視しながら職場内で活かせる労働条件づくりに努めています。また、職員間の交流、気分転換が図れるよう、新年会等の場を設けています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を積極的に受けられるよう機会の確保に努め、更に各種委員会活動を通して職員一人ひとりの資質の向上を図っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	各種連絡等に参加し同業者との交流を積極的に図り助言等を頂いています。また、福祉ネットワークの活用によって、ケアの質の向上につなげています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、入居時のアセスメントを心掛け、入居者様の意向に沿える支援の提供に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	上記と同様ご家族の意向も聴かせていただき、信頼関係の構築を図っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを通して本人、家族の意向、これまで利用してきたサービスを把握し入居者様に最適な支援が提供できるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	画一的なサービスになりがちですが、掃除や調理など本人様に出来る事をお手伝い頂き、職員と共に活動できるよう取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との対話も大切にし、その時々のご家族の意向を確認し、入居者様の支援に繋がれるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事への参加、お盆・お正月の帰省、お墓参り、友人等の面会時の配慮などを行い、馴染みの関係が途切れないように支援に努めています。	近所の馴染みの方の訪問が多い。家族や職員と地域の行事に参加したり、墓参り、美容室、ドライブに出かける等、入居前と変わらない支援をしている。年間行事で、月毎に買い物に出かけてお花を買ったり、携帯や手紙の取次ぎ等、馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様一人ひとりの会話を大切にしており、必要があれば間に職員が入って入居者様同士の関係性の把握・改善が図れるよう努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	当ホームでの生活状況をまとめ、転居先での新生活に繋がるよう情報等を提供・支援しています。また、退居後も相談事など気軽に受け付けていることを本人・家族に伝えています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメント、モニタリング、日々の活動を通して入居者様の意向の把握に努め、ご家族への理解を求めています。	入浴でくつろいでいる時等に話しかけたり、回想法を利用して思いや意向を傾聴している。その人らしい暮らし方を一緒に考え、職員間で共有し支援に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居予定前から本人・家族、関係機関から情報収集を行い、成育歴、生活歴などの詳しい情報収集に		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の活動やご家族、医療機関等を通じて把握できるよう努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様、ご家族の意見を伺いながら本人の意向に沿ったプラン作成、目標期間に応じたモニタリング、職員間でカンファレンスを行い情報を共有し、現状に即した介護計画を作成できるよう努めています。	今までの生活歴を把握し、日常生活において利用者の思いを聞き計画案を作成し担当者会議で主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行い、状況の変化時はその都度見直しして、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	時間、活動ごとに記録に残しており、特記事項があれば連絡ノートに転記して職員間で周知、実践を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	タイムリーなニーズへの対応を心掛けており、入居者様や家族の望む暮らしの変化を日々の支援に繋げられるよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	医療機関、福祉サービス、ボランティア、民生委員等との連携を図り安全で豊かな生活が送れるように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療前に入居者様の状態把握に努め、主治医に報告し、診療後の状態報告を入居者様、ご家族に行うようにしています。	本人や家族の希望するかかりつけ医を契約時に決めている。月2回訪問診療がある。夜間や随時診療もある。他科受診は紹介状を書き、家族が同行している。訪問看護で主治医と連携を取っている。受診結果は家族に報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様の状態を看護師に報告・相談することが出来ています。今後も医療職と連携を取りながら入居者様の状態管理を行っていきます。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時の連携も病院関係者と図れており、主治医の先生には訪問時に指示を仰ぎながら関係づくりを行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化・終末期の対応についてご家族に丁寧に説明させていただき理解を求めています。診療経過をご家族にお伝えし状態の相互理解にも務めています。</p>	<p>重度化・終末期に向けた指針を契約時に説明し同意書を貰っている。状況の変化に伴い家族に説明を重ね、延命措置や看取りも含めた家族の意向を確認して、協力医療機関と連携を取りながら慎重に進めている。看取りの経験もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生時の連絡網、離設時のマニュアルを備え、勉強会等を通じて実践力の向上を図っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災訓練を定期的に行い災害時の対応に取り組んでおり、災害時の避難先も確保しています。全職員への周知が図れるよう取り組んでいます。</p>	<p>年2回、昼夜想定して火災訓練を実施し、その内1回は消防署の立会いのもと法人合同で行っている。自主訓練も行い、災害対策に対処できるよう、シートでの移動訓練等行っている。地域住民の参加も呼びかけている。防火設備は業者が年2回点検している。建物は風水害に強い構造であり、災害時は分遣隊が5分で到着する距離である。備蓄に水・食料品・ラーメン・カンパン・ペットボトル等を用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者様への声掛けは日々気を付けて対応しています。尊厳の保持を理念にしていますので全職員が入居者様への敬意を忘れない様接遇に気を付けていきます。</p>	<p>年に1回の勉強会を行い、トイレ誘導、入室、入浴時の声かけに配慮し、名前はさん付けで呼んでいる。職員間の会話にも気配りして、一人ひとりの人格を尊重した支援を行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日常的な支援の関わりにおいて本人の思いや意向をしっかりと受け止めて、自己決定ができるように働きかけ寄り添った支援を行っています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様のペースに合わせて生活できるように、心身の状況や日々の状態に合わせて個別性のある支援を行っています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>身だしなみは入居者様だけでなく施設の印象にも繋がるものと考えていますので入居者様の気分に合わせて支援を行えるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	準備・片付けを入居者様と一緒にに行っています。食事も職員と一緒に和やかな雰囲気の中で摂っていただいています。誕生日メニュー、行楽弁当も入居者様から好評をいただいています。	嗜好調査を定期的に行い、きざみ食やとろみ食等の食事形態を個々に配慮している。準備や片付け等を職員と一緒にしている。年2回のバイキング、月1回の赤飯、お正月、節句、誕生日等の行事食やそうめん流し、行楽弁当等、季節感を味わえるように配慮し、食事が楽しくなるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量の把握を毎食行って状態管理をしています。日ごとの水分摂取量も職員間で確認して把握に努め、必要であれば声掛けを行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、個々にあったケアを行い、就寝時には義歯を洗浄液につけています。着床前に口腔内に食物が残っていないように確認しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の自立に向けて、排泄の声掛け・排泄量、形状の確認を行っています。自尊心を損ねないように接遇にも気を付けて取り組んでいます。	各居室にトイレがあり、パットの種類にも配慮して自立に向けた支援を行っている。排泄チェック表を活用し、利用者のサインなども見逃さない様に早目の声かけ誘導を行っている。介護記録にパターンを記載し、回数、排泄量、形態の確認をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の声掛けでの排泄確認や掃除の際の目視を通して排泄状況を確認しています。便秘の際は水分摂取の声掛けや主治医・看護師への報告を行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	入浴回数や曜日等の調整をしながら、入居様が楽しめる支援に努めています。また、当ホーム独自の資源である「温泉」を活用し満足していただけるよう支援しています。	入浴は週に2回を目安に行っている。ホームで温泉があるので、2名の見守りで安全に入浴できるよう支援している。本人の希望で個浴もできる。のれんをかけ、音楽を流す等楽しんでいる。浴室の温度や体調の確認、入浴意思の確認をして個々に応じた支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝の時間を設けるなど入居様が生活リズムを崩さない範囲で安眠に向けた支援を行っています。また、ベッド周りの整理整頓も定期的に行い、清潔な環境づくりに配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎食後、服薬管理を行い服薬忘れの防止を図っています。内服薬の理解が高められるよう医療機関との連携や勉強会を通じた取り組みに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々の入居者様の生活歴等の情報を職員間で共有し、家事参加など入居者様の特技が発揮できるように支援しています。また、散歩、レク、買物支援等の楽しみの時間を提供しています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>年間計画に基づき、季節を感じたり開放的な気分になれるように外出支援を行っています。また、家族の協力のもと外出・外泊ができています。</p>	<p>年間計画を立て、天候や体調に配慮しながら、近隣や公園への散歩をしたり、初詣、花見、買い物支援、夏祭り等の外出を行っている。家族の協力で墓参りや法事に帰宅し、外泊、外食等を行い、できるだけ外出できるように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様の力量に応じて、ご家族と相談しながら、お金を所持し本人が買い物ができるように支援しています。また、立替購入も実施しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話のやり取りは入居者様の意向に沿って都度行えており、年賀状や手紙のやりとりも続けて交流ができるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月、フロア内の飾り付けを行い、常に季節の移り変わりが感じられるようにしています。カーテン等で光の調節を行ったり、不快な音を立てないように配慮しています。	窓からは遠方の山や街並みが一望に見渡せる。フロアは明るく室温・湿度・採光が適切で空気清浄機や除湿機が置かれている。ゆったりとしたスペースでソファでゆっくりと寛いでいる。壁には写真や利用者の塗り絵、季節の手作り作品や花が飾っており、居心地のよい空間になっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにはソファを設置し、入居者様がゆっくり会話を楽しめたり、居心地のいい場所として利用されています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の馴染みのものを居室に置くようにし、安心して生活できる環境作りを心掛けています。	居室はエアコン、ベッド、トイレ、車椅子対応の洗面台が設置してある。寝具はリースである。家から持ち込まれたダンス、洋服かけ、写真、カレンダー、冷蔵庫、位牌、人形、ドライフラワー等があり、居心地よく過ごせるように配慮してある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ・浴室などに手すりを設置し安全に移動できる環境を作っています。また、照明も調整ができ、目に優しいものとなっています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない